

SS4M 導入可否チェックリスト

各製造プロセスにおいて過去実績を活用し、業務全体の効率化をするためにチェックリストをご活用ください。



既存のCADデータの活用

既存の設計データを調べたい時どうしますか？

- ベテラン社員に聞いている
- ファイルを片っ端から探す
- あきらめる
- 調べず新規設計している
- CADが無いので、どんなモデルなのか見る事すらできない



検索方法・検索状況

検索方法・状況はいかがですか？

- CADデータだけでは探す事ができない
- 流用可能な部品を探すルールが制定されていない
- 他の設計者が過去に設計した部品を検索できない
- 僅かな時間で目的の部品へアクセスできない
- 部品を再利用できる自信がない



標準部品の活用の普及

標準部品の活用は普及していますか？

- 検索の方法が属人的である
- 重複した部品や金型などがたくさんある
- 既存の部品や製品の持つノウハウを新しい部品・製品の製造に活用できていない



データベースの整理

データベースは整理されていますか？

- PDM/PLM、ファイル管理システムからの検索が困難
- 自社の設計データは正しく分類できていない



チェックの数：

- 0 : 完璧です。
- 1~5 : 時間と人件費に余裕があれば問題ございません。
- 6以上 : SS4Mを試してみましょう！

SmartScope の類似形状検索システム SS4M についての詳細は、こちらをダウンロードしてください。

SS4Mホワイトペーパー 過去の設計情報の有効活用についてのご案内 [LEARN MORE](#)